

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
22421	(上水)水質安全対策事業	公営企業局	浄水管理センター	シートB	2
21112	(上水)震災対策事業(施設耐震化)(給水基地分)	公営企業局	浄水管理センター	シートB	4
22421	(上水)水質管理能力の向上	公営企業局	浄水管理センター	シートA	6
51211	(上水)施設更新・改良事業(浄水管理センター分)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	7
51211	(簡水・北条)施設更新・改良事業	公営企業局	浄水管理センター	シートA	8
51211	(工水)施設更新・改良事業	公営企業局	浄水管理センター	シートA	9
51212	(上水)業務委託等(浄水管理センター分)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	10
51212	(簡水・北条)業務委託等(浄水管理センター分)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	11
51212	(工水)業務委託等	公営企業局	浄水管理センター	シートA	12
51212	(上水)修繕等(浄水管理センター分)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	13
51212	(簡水・北条)修繕等	公営企業局	浄水管理センター	シートA	14
51212	(工水)修繕等(浄水管理センター分)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	15
51212	(上水)補償	公営企業局	浄水管理センター	シートA	16
51212	(工水)補償	公営企業局	浄水管理センター	シートA	17
53323	(上水)漏水防止対策事業(浄水管理センター分)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	18
62213	(上水)民間的経営手法の継続	公営企業局	浄水管理センター	シートA	19
62213	(工水)民間的経営手法の継続	公営企業局	浄水管理センター	シートA	20
69999	(上水)その他の支出(動力費、薬品費等)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	21
69999	(簡水・北条)その他の支出(動力費、薬品費等)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	22
69999	(工水)その他の支出(動力費等)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	23

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	水質検査担当	連絡先	977-0292
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	宮内彰三	担当者名
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	水質検査担当	連絡先	977-0292
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	宮内彰三	担当者名

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施業コード)	22421	(上水)水質安全対策事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	安定した水の供給			主な取り組み	-	
主な取り組み	水質管理及び漏水時・緊急時の対応強化		市長公約	-		
取り組みの柱	水質の適正管理			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019,水道法第4条					
事業の目的(どのような状態にするか)	臭気物質を適切に処理できる活性炭注入装置の整備を促進すること。 濁度、色度、残留塩素などを24時間連続して自動計測する装置の整備を促進すること。 クリプトスポリジウムを除去できる施設の整備を促進すること。					
背景(どのような経緯で開始したか)	水質への関心の高まりにより、さらなる水質の向上及び適正管理を行うため。 臭気物質対策については平成23年度に臭気物質の発生があったため。 クリプトスポリジウム暫定対策指針への対応のため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 上水道事業に使用している施設、設備	[事業内容] 臭気物質対策、残留塩素対策、クリプトスポリジウム対策				
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	~	令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		営業費用		目	原水及び浄水費	R2 予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度	R元年度	R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				1,028					1,047		1,047
決算額(B)(単位:千円)				891					886		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			891				886	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								臭気物質自動監視装置の維持管理等 886千円		臭気物質自動監視装置の維持管理等 1,047千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		137				161			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	臭気物質自動監視装置の維持管理等										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。							
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています								
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。										
R3年度の目標	適切に設備等の維持管理をおこない、安全な水の供給を維持する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	臭気物質自動監視装置の維持管理等				特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	水質基準不適合率	%	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	0	0	0	0	0	達成年度		
			% 達成度	100	100	100					
	指標の種類	6:現状維持を目指す指標(減を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		水質基準に不適合な水を供給しないことが求められる				
	本指標の設定理由	水質基準に不適合な水を供給しないことが求められるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	適正な水質管理を行うことにより、水質基準に適合した水を供給できた									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	更新修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	更新修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21112	(上水)震災対策事業(施設耐震化)(給水基地分)			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム		
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト		
施策	防災対策等の推進					主な取り組み		
主な取り組み	危機管理体制の強化				市長公約	332	みんなで助け合い、安心して暮らせる松山をつくります	
取り組みの柱	避難・備蓄対策の推進						空き家対策やリフォームのほか、木造住宅の耐震化を支援し、住環境をさらに整えます。また、西条分水を基本にした新規水源の確保など、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。	
総合戦略	基本目標				取組み			
	政策							
	施策							
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019							

事業の目的(どのような状態にするか)	災害時対応能力の向上を目指し、震災時に飲料水を確保するとともに、給水車等への注水作業ができる拠点として非常用給水設備を整備する。							
背景(どのような経緯で開始したか)	水道は市民生活や都市活動に欠くことのできないライフラインであり、特に災害等の緊急時には飲料用のほか、医療活動や消防活動にとっても重要であるため、災害時に給水車の動線を考慮した給水基地を整備することで迅速な応急給水活動を行う。							
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	[対象] 市之井手浄水場	[事業内容] 災害時対応能力の向上を目指し、震災時に飲料水を確保するとともに、給水車等への注水作業ができる拠点として非常用給水設備(応急給水口の複数化)を整備する。						
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	令和	2	～	令和	3	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	資本的支出		目	浄水施設費	R2 予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				0	30,281				31,817
決算額(B)(単位:千円)				0	0				0
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金	0	0				0
			県支出金	0	0				0
			市債	0	0				0
			その他	0	0				0
		一般財源	0	0				31,817	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								給水基地の確保 31,817千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		0		30,281			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	給水基地の確保							
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		施工箇所に地下埋設物が発見され設置箇所の変更が必要となり、工期が延期となったことで予定どおり実施できなかった。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		災害時に給水車の給水基地を整備することで迅速な応急給水活動を行うことができたため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	給水基地の整備完了後に、スムーズに給水車等への注水ができるよう訓練を実施する必要がある。							
R3年度の目標	災害時は、応急給水活動の給水基地となることから、早い時期に市之井手浄水場の給水設備を完成させる。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		市之井手浄水場の給水設備について、非常時に効率的に給水できるような複数の給水口及びポンプユニットを整備する。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	
	スムーズに給水車等への注水ができるよう訓練を実施する。							

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
		指標の種類			最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由								
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
			%	達成度						
		指標の種類			最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由								
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
%			達成度							
	指標の種類			最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由									
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
		指標の種類			最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由								
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
			%	達成度						
		指標の種類			最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由								
	上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標								
		成果指標								
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	水道は市民生活や都市活動に欠くことのできないライフラインであり、特に災害等の緊急時には飲料用のほか、医療活動や消防活動にとっても重要であるため、災害時に給水車の動線を考慮した給水基地を整備することで迅速な応急給水活動を行う。									

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	水質保全担当	連絡先	977-0510
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	水質管理担当	連絡先	977-0510
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22421	(上水)水質管理能力の向上		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】			笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる				重点プロジェクト	-	
施策	安定した水の供給				主な取り組み	-	
主な取り組み	水質管理及び漏水時・緊急時の対応強化			市長公約	-		
取り組みの柱	水質の適正管理				-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019、水道法第4条						
事業の目的(どのような状態にするか)	安全で安心できる水の安定供給を目指す。						
背景(どのような経緯で開始したか)	水質への関心の高まりにより、さらなる水質の向上及び適正管理を行うため。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 上水道事業によって給水している水 [事業内容] 水質検査の信頼性を保証する規範である優良試験所規範(GLP: Good Laboratory Practice)の認定継続 水安全計画、水質検査計画に基づく水道水質の管理						
受益者負担の状況	負担の有無	-		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)		～	令和 10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		営業費用		目	原水及び浄水費	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度	R元年度	R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)					5,920				63		575
決算額(B)(単位:千円)					5,175				62		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金			0				0		0
		県支出金			0				0		0
		市債			0				0		0
		その他			0				0		0
		一般財源			5,175				62		575
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								水道GLPの認定に伴う維持費 62千円		水道GLPの認定に伴う維持費 575千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	745				1		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	水道GLPの維持						
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。						
R3年度の目標	水道GLPの維持		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	水道GLPの維持		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	更新修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	更新修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51211	(上水)施設更新・改良事業(浄水管理センター分)			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約			
取り組みの柱	施設の建設改良							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019,水道法第5条							
事業の目的(どのような状態にするか)	施設の老朽化に伴い、突発的な故障が発生するおそれがあるため計画的な更新改良を行う。							
背景(どのような経緯で開始したか)	施設の老朽化によって経年劣化が生じており、突発的な故障等が発生する可能性があるため。							
対象・事業内容(誰に対して,何をするか)	[対象] 上水道事業に使用している施設、設備 [事業内容] 施設、設備の設置及び更新時期から計画をたて、現場状況等をみながら更新改良を進めている。							
受益者負担の状況	負担の有無	-			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	-		
始期・終期(年度)		~	令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	資本的支出ほか		項	水道建設改良費ほか	目	浄水施設費ほか	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度					R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)							560,334		729,764		432,678
決算額(B)(単位:千円)							206,478		253,004		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金			0		0		0
				県支出金			0		0		0
				市債			0		0		0
				その他			0		0		0
		一般財源			206,478			253,004		432,678	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							無停電電源装置取替工事 55,330千円 受配電設備の更新 47,300千円		受配電設備ほか電気設備更新工事 71,280千円 北条電算設備更新工事(繰越) 54,200千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							予算額のうち、98,600千円は前年度からの繰越				
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)					353,856		476,760		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	無停電電源装置取替工事 ほか											
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響により工事が遅延し、一部、繰越工事となった。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		安全で安心できる水の安定供給ができています							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症による工事進捗への影響を考慮する必要がある。											
R3年度の目標	計画的に更新改良を行う。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			無停電電源装置取替工事 ほか		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症により工事進捗の遅れが生じた場合の対応について、事前に検討を行う。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	更新修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	更新修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51211	(簡水・北条)施設更新・改良事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約			
取り組みの柱	施設の建設改良					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市簡易水道事業経営戦略					
事業の目的(どのような状態にするか)	施設の老朽化に伴い、突発的な故障が発生するおそれがあるため更新改良を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	施設の老朽化によって経年劣化が生じており、突発的な故障等が発生する可能性があるため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 北条地区簡易水道事業に使用している施設、設備 [事業内容] 施設の老朽化に伴い、突発的な故障が発生する施設、設備の更新改良を迅速に行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	~	令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	北条地区簡易水道事業	款	資本的支出		項	北条地区簡易水道建設改良費	目	配水施設費	R2予算措置時期		当初
				R元年度	R2年度					R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)									770			0
決算額(B)(単位:千円)									418			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金					0			0
				県支出金					0		0	
				市債					0		0	
				その他					0		0	
			一般財源					418			0	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								水道施設設備取替工事 418千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)						352			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	予測できない施設、設備の改修工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	突発的な故障が発生する施設、設備の更新改良を迅速に行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	予測できない施設、設備の改修工事	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。



令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	更新修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	更新修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施業コード)	51211	(工水)施設更新・改良事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約	-		
取り組みの柱	施設の建設改良			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	工業用水道事業法第11条,松山市工業用水道事業経営戦略					
事業の目的(どのような状態にするか)	施設の老朽化に伴い、突発的な故障が発生するおそれがあるため計画的な更新改良を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	施設の老朽化によって経年劣化が生じており、突発的な故障等が発生する可能性があるため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 工業用水道事業に使用している施設、設備 [事業内容] 施設、設備の設置及び更新時期から計画をたて、現場状況等をみながら更新改良を進めている。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	~	令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	資本的支出ほか		項	工業用水道建設改良費ほか	目	取水施設費ほか	R2予算措置時期		当初
				R元年度	R2年度					R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)							46,341		4,400			94,738
決算額(B)(単位:千円)							36,155		2,211			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金			0		0			0
				県支出金			0		0		0	
				市債			0		0		0	
				その他			0		0		0	
			一般財源			36,155		2,211			94,738	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								水道施設設備取替工事 2,211千円			受配電設備ほか電気設備更新工事 30,293千円 取水ポンプ取替工事 25,938千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				10,186		2,189			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	深井戸フェンス設置工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	工業用水の安定供給ができています			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	計画的に更新改良を行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	水道施設設備取替工事	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(上水)業務委託等(浄水管理センター分)			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約			
取り組みの柱	施設の維持管理等							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2009、水道ビジョンまつやま2019							
事業の目的(どのような状態にするか)	専門業者等に委託することにより効率的効果的な業務遂行を図るものである。							
背景(どのような経緯で開始したか)	これまで職員を配置して行っていた業務を民間業者等に委託することにより経費を削減し、人材を効率的に配置するものである。							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 施設の維持管理等に関する業務、産業廃棄物に関する業務等 [事業内容] 業者等と契約し、適切に業務遂行されているか管理監督業務を行うものである。							
受益者負担の状況	負担の有無	-			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	-		
始期・終期(年度)		~	令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		項	営業費用	目	原水及び浄水費ほか	R2予算措置時期		当初
				R元年度	R2年度					R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)							587,590		567,747			567,496
決算額(B)(単位:千円)							571,763		535,259			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金			0		0			0
				県支出金			0		0		0	
				市債			0		0		0	
				その他			0		0		0	
			一般財源			571,763		535,259			567,496	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							市之井浄水場ほか運転等管理委託 282,918千円 高井神田・かきつばた浄水場維持管理業務 172,322千円		市之井浄水場ほか運転等管理委託 283,043千円 高井神田・かきつばた浄水場維持管理業務 192,138千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				15,827		32,488			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市之井浄水場ほか運転等管理委託 かきつばた・高井神田浄水場維持管理業務 ほか											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定どおり実施できている。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			安全で安心できる水の安定供給ができています						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。											
R3年度の目標	適切な業務遂行がなされているか管理監督を行う。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			市之井浄水場ほか運転等管理委託 かきつばた・高井神田浄水場維持管理業務 ほか			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		
	特になし。											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(簡水・北条)業務委託等(浄水管理センター分)			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約			
取り組みの柱	施設の維持管理等							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市簡易水道事業経営戦略							
事業の目的(どのような状態にするか)	専門業者等に委託することにより効率的効果的な業務遂行を図るものである。							
背景(どのような経緯で開始したか)	これまで職員を配置して行っていた業務を民間業者等に委託することにより経費を節減し、人材を効率的に配置するものである。							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 施設の維持管理等に関する業務、産業廃棄物に関する業務等 [事業内容] 業者等と契約し、適切に業務遂行されているか管理監督業務を行うものである。							
受益者負担の状況	負担の有無	-		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)		~	令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	北条地区簡易水道事業費用		目	原水及び浄水費ほか	R2予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					9,032		10,200		9,098
決算額(B)(単位:千円)					9,129		9,569		
内訳(単位:千円) ※R元→R2決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				0		0		0
一般財源					9,129		9,569		9,098
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						市之井手浄水場ほか運転等管理委託 7,866千円		市之井手浄水場ほか運転等管理委託 7,866千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	-97		631		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市之井手浄水場ほか運転等管理委託 ほか							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。							
R3年度の目標	適切な業務遂行がなされているか管理監督を行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	市之井手浄水場ほか運転等管理委託 ほか		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(工水)業務委託等	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約			
取り組みの柱	施設の維持管理等					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	工業用水道事業法,松山市工業用水道事業経営戦略					
事業の目的(どのような状態にするか)	専門業者等に委託することにより効率的効果的な業務遂行を図るものである。					
背景(どのような経緯で開始したか)	これまで職員を配置して行っていた業務を民間業者等に委託することにより経費を節減し、人材を効率的に配置するものである。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 施設の維持管理等に関する業務、産業廃棄物に関する業務等 [事業内容] 業者等と契約し、適切に業務遂行されているか管理監督業務を行うものである。					
受益者負担の状況	負担の有無	-		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由		
始期・終期(年度)	~	令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用		目	原水及び浄水費ほか	R2予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R元年度		R2年度		R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					105,659		90,695		89,008
決算額(B)(単位:千円)					97,531		92,761		
内訳(単位:千円) ※R元→R2決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				0		0		0
一般財源					97,531		92,761		89,008
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						市之井手浄水場ほか運転等管理委託 66,672千円 高井神田・かさつばた浄水場維持管理業務 20,765千円		市之井手浄水場ほか運転等管理委託 66,672千円 高井神田・かさつばた浄水場維持管理業務 18,135千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用増あり			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	8,128		-2,066		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市之井手浄水場ほか運転等管理委託 ほか					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	工業用水の安定供給ができています			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	適切な業務遂行がなされているか管理監督を行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	市之井手浄水場ほか運転等管理委託 ほか	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	更新修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	更新修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(上水)修繕等(浄水管理センター分)	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約	-		
取り組みの柱	施設の維持管理等			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019					
事業の目的(どのような状態にするか)	施設の老朽化に伴い、突発的な故障が発生するため修繕するものである。					
背景(どのような経緯で開始したか)	施設の老朽化により経年劣化が生じ修繕するものである。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 上水道事業に使用している施設、設備 [事業内容] 施設、設備の設置及び更新時期から計画をたて現場状況等をみながら修繕するものである。					
受益者負担の状況	負担の有無	-		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由		
始期・終期(年度)	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		営業費用		目	原水及び浄水費ほか	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度	R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)					107,678				138,989		122,715
決算額(B)(単位:千円)					80,994				99,246		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金					0		0
				県支出金					0		0
				市債					0		0
				その他					0		0
				一般財源				80,994			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								市之井手排水処理設備修理工事 45,100千円 ポンプ・モーター修理工事 33,899千円		市之井手排水処理設備修理工事 55,143千円 ポンプ・モーター修理工事 34,551千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		26,684				39,743		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	排水処理設備修理工事 ほか					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	現地調査のうえ、計画的に修繕を行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	市之井手排水処理設備修理工事 ポンプ・モーター修理工事	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(簡水・北条)修繕等	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約			
取り組みの柱	施設の維持管理等					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市簡易水道事業経営戦略					
事業の目的(どのような状態にするか)	施設の老朽化に伴い、突発的な故障が発生するため修繕するものである。					
背景(どのような経緯で開始したか)	施設の老朽化により経年劣化が生じ修繕するものである。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 北条地区簡易水道事業に使用している施設、設備 [事業内容] 施設、設備の設置及び更新時期から計画をたて現場状況等をみながら修繕するものである。					
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)		～ 令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	北条地区簡易水道事業費用		目	原水及び浄水費ほか	R2予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					2,613		1,452		5,423
決算額(B)(単位:千円)					0		0		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金			0		0		0
		県支出金			0		0		0
		市債			0		0		0
		その他			0		0		0
		一般財源			0		0		5,423
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								侵入者防止対策強化工事 2,970千円 突発修繕 1,430千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	2,613		1,452		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	突発修繕					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	対象工事は発生しなかったが、現地状況把握等を適切に行った。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	現地調査のうえ、修繕を適切に行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	突発修繕	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(工水)修繕等(浄水管理センター分)			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約			
取り組みの柱	施設の維持管理等							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-						
	施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市工業用水道事業経営戦略							
事業の目的(どのような状態にするか)	施設の老朽化に伴い、突発的な故障が発生するため修繕するものである。							
背景(どのような経緯で開始したか)	施設の老朽化により経年劣化が生じ修繕するものである。							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 工業用水道事業に使用している施設、設備 [事業内容] 施設、設備の設置及び更新時期から計画をたて現場状況等をみながら修繕するものである。							
受益者負担の状況	負担の有無	-		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)		~	令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用	項	営業費用	目	原水及び浄水費ほか	R2予算措置時期	当初
				R元年度		R2年度		R3年度		
現予算額(A)(単位:千円)				2,838			2,002	1,903		
決算額(B)(単位:千円)				310			1,506	-		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0			0	0		
	県支出金			0			0	0		
	市債			0			0	0		
	その他			0			0	0		
	一般財源			310			1,506	1,903		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				突発修繕 1,242千円		突発修繕 1,430千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	2,528	496				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	突発修繕								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切に修繕を行うことができたため					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	工業用水の安定供給ができています						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。								
R3年度の目標	現地調査のうえ、修繕を適切に行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	突発修繕		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主査	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主査	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(上水)補償	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約			
取り組みの柱	施設の維持管理等					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	地下水等を取水するため地元等との協力関係を築く。					
背景(どのような経緯で開始したか)	浄水場等の建設時に取水権利を有していたものと交わした覚書等により補償をおこなっているものである。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 地元土地改良区、漁業協同組合 等 [事業内容] 覚書等を交わしている団体に対し補償をおこなっている。					
受益者負担の状況	負担の有無	[有り]の場合,基準や金額等 [無し]の場合,その理由				
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		営業費用		目	原水及び浄水費ほか	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度	R元年度	R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				21,811	19,372						18,771
決算額(B)(単位:千円)				21,026	18,166						
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金		0	0						0
		県支出金		0	0						0
		市債		0	0						0
		その他		0	0						0
		一般財源		21,026	18,166						18,771
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					灌漑用井戸に係る揚水経費 12,423千円 揚水経費補償等 3,610千円				灌漑用井戸に係る揚水経費 13,000千円 揚水経費補償等 3,671千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		785	1,206						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	灌漑用井戸に係る揚水経費 ほか					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	覚書の内容に沿った適切な補償を行っていく。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	灌漑用井戸に係る揚水経費 ほか	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。



令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主査	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主査	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(工水)補償	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約			
取り組みの柱	施設の維持管理等					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	地下水等を取水するため地元等との協力関係を築く。					
背景(どのような経緯で開始したか)	浄水場等の建設時に取水権利を有していたものと交わした覚書等により補償をおこなっているものである。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 地元土地改良区、漁業協同組合 等 [事業内容] 覚書等を交わしている団体に対し補償をおこなっている。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)		~ 令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用		目	原水及び浄水費ほか	R2予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R元年度		R2年度		R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					19,825		18,043		17,336
決算額(B)(単位:千円)					18,132		13,190		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				0		0		0
一般財源					18,132		13,190		17,336
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						灌漑用井戸に係る揚水経費 9,221千円 揚水経費補償等 2,244千円	灌漑用井戸に係る揚水経費 13,000千円 揚水経費補償等 2,244千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	1,693		4,853		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	灌漑用井戸に係る揚水経費 ほか					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	工業用水の安定供給ができています			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	覚書の内容に沿った適切な補償を行っている。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	灌漑用井戸に係る揚水経費 ほか	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。	

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	更新修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	更新修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	53323	(上水)漏水防止対策事業(浄水管理センター分)			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する					重点プロジェクト	-	
施策	節水型都市づくりの推進					主な取り組み	-	
主な取り組み	水資源の有効利用				市長公約			
取り組みの柱	漏水防止対策							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019,水道法第5条							
事業の目的(どのような状態にするか)	水圧調整局に設置している電動弁の老朽化が著しいため計画的に取り替えを行い、漏水防止の観点から給水圧コントロールの効率化を進める。							
背景(どのような経緯で開始したか)	電動弁の老朽化によって経年劣化が生じており、突発的な故障等が発生する可能性があること、効率的な給水圧コントロールを行うため。							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 上水道事業に使用している電動弁 [事業内容] 電動弁の設置及び更新時期から計画をたて、現場状況等をみながら更新を進めている。							
受益者負担の状況	負担の有無	-			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	-		
始期・終期(年度)	平成	29	～	令和	3	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	資本的支出ほか		項	水道建設改良費ほか	目	浄水施設費ほか	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度					R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)											158,895
決算額(B)(単位:千円)											88,006
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金		0					0		0
		県支出金		0					0		0
		市債		0					0		0
		その他		0					0		0
		一般財源		177,662					88,006		158,895
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							水圧調整弁取替工事 88,006千円				水圧調整弁取替工事 158,895千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							予算額のうち,128,200千円は前年度繰越額				
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		208,285					194,634		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	水圧調整弁取替工事							
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	さらなる水の安定供給のために、水圧調整弁に起こりうる故障や誤作動時にも対応できるシステムの検討に時間を要し、工事の発注が延期となった。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。							
R3年度の目標	計画的に設備の更新・効率化を行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	水圧調整弁取替工事		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。	

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(実施コード)	62213	(上水)民間的経営手法の継続		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】			笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する				重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進				主な取り組み	-	
主な取り組み	効率的な行政を推進するための体制強化			市長公約			
取り組みの柱	民間との役割分担						
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019						
事業の目的(どのような状態にするか)	高井神田浄水場及びかきつばた浄水場の整備に伴うモニタリングをおこない、適切な維持管理がおこなわれていることを確認する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	これまで職員を配置して行っていた業務を民間業者等に委託することにより経費を節減し、人材を効率的に配置するものである。						
対象・事業内容(誰に対して,何をするか)	[対象] 高井神田浄水場、かきつばた浄水場 [事業内容] 企業局が実施する月例、四半期モニタリングに対する支援業務、突発事象に対するモニタリング業務、年総括モニタリング業務、財務モニタリング業務						
受益者負担の状況	負担の有無	-		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	-		
始期・終期(年度)	平成	20	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		営業費用		目	総係費	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度	R元年度	R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)					2,515				2,607		2,607
決算額(B)(単位:千円)					1,876				2,468		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金					0		0
				県支出金					0		0
				市債					0		0
				その他					0		0
				一般財源		1,876			2,468		2,607
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託 2,468千円		DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託 2,607千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		639				139		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託						
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。						
R3年度の目標	モニタリングの内容について精査する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(実施コード)	62213	(工水)民間的経営手法の継続			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する					重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進					主な取り組み	-	
主な取り組み	効率的な行政を推進するための体制強化				市長公約			
取り組みの柱	民間との役割分担							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-						
	施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019							
事業の目的(どのような状態にするか)	高井神田浄水場及びかきつばた浄水場の整備に伴うモニタリングをおこない、適切な維持管理がおこなわれていることを確認する。							
背景(どのような経緯で開始したか)	これまで職員を配置して行っていた業務を民間業者等に委託することにより経費を削減し、人材を効率的に配置するものである。							
対象・事業内容(誰に対して,何をするか)	[対象] 高井神田浄水場、かきつばた浄水場 [事業内容] 企業局が実施する月例、四半期モニタリングに対する支援業務、突発事象に対するモニタリング業務、年総括モニタリング業務、財務モニタリング業務							
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成	20	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用		目	総係費	R2予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R元年度		R2年度		R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					288		298		298
決算額(B)(単位:千円)					215		282		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				0		0		0
	一般財源				215		282		298
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託 282千円		DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託 298千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	73		16		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		工業用水の安定供給ができています				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。							
R3年度の目標	モニタリングの内容について精査する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし。	

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主査	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主査	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(上水)その他の支出(動力費、薬品費等)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】			笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他				重点プロジェクト	-	
施策	その他				主な取り組み	-	
主な取り組み	その他			市長公約	-		
取り組みの柱	その他				-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し	
根拠法令,条例,個別計画等		水道ビジョンまつやま2019					
事業の目的(どのような状態にするか)	事業をおこなうために動力費及び薬品費を支出する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	事業をおこなうために動力費及び薬品費を支出する。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 動力に要する電力、浄水に要する薬品 [事業内容] 浄水場等施設の動力費(電気代)の支出、浄水処理用の薬品費支出						
受益者負担の状況	負担の有無	-		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	-		~ 令和 10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		営業費用		目	原水及び浄水費ほか	R2予算措置時期	当初
				R元年度	項	R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						367,203			390,040		370,106
決算額(B)(単位:千円)						327,749			322,439		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			327,749			322,439		370,106
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								動力費 268,060千円 薬品費 53,331千円		動力費 305,690千円 薬品費 62,431千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		39,454			67,601		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	浄水場等施設の動力費(電気代)の支出 浄水処理用の薬品費支出						
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できたため			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。						
R3年度の目標	各施設ごとの運転状況から、適正な契約電力や必要量について検討する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	浄水場等施設の動力費(電気代)の支出 浄水処理用の薬品費支出		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主査	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主査	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(簡水・北条)その他の支出(動力費、薬品費等)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他			重点プロジェクト	-	
施策	その他			主な取り組み	-	
主な取り組み	その他		市長公約	-		
取り組みの柱	その他			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市簡易水道事業経営戦略					
事業の目的(どのような状態にするか)	事業をおこなうために動力費及び薬品費を支出する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	事業をおこなうためには動力を要し、浄水するために薬品を要するため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 動力に要する電力、浄水に要する薬品 [事業内容] 浄水場等施設の動力費(電気代)の支出、浄水処理用の薬品費支出					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)		～ 令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	北条地区簡易水道事業費用		R2予算措置時期		当初
				項	営業費用	目	原水及び浄水費ほか	
				R元年度	R2年度	R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				429	464	430		
決算額(B)(単位:千円)				388	345	430		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0		
	県支出金			0	0	0		
	市債			0	0	0		
	その他			0	0	0		
	一般財源			388	345	430		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				動力費 315千円 薬品費 29千円	動力費 385千円 薬品費 45千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		41	119			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	浄水場等施設の動力費(電気代)の支出 浄水処理用の薬品費支出					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	各施設ごとの運転状況から、適正な契約電力や必要量について検討する。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	浄水場等施設の動力費(電気代)の支出 浄水処理用の薬品費支出	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主査	担当者名	
令和2年度	部局等名	公営企業局管理部	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野一生	課等長名	半田丈士	リーダー名	主査	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(工水)その他の支出(動力費等)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他			重点プロジェクト	-	
施策	その他			主な取り組み	-	
主な取り組み	その他		市長公約	-		
取り組みの柱	その他			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市工業用水道事業経営戦略					
事業の目的(どのような状態にするか)	事業をおこなうために動力費を支出する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	事業をおこなうためには動力を要するため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 動力に要する電力					
	[事業内容] 浄水場等施設の動力費(電気代)の支出					
受益者負担の状況	負担の有無	[有り]の場合,基準や金額等 [無し]の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)	~	令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用		目	原水及び浄水費ほか	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				29,234	32,868				27,764
決算額(B)(単位:千円)				27,652	25,321				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金		0	0				0
		県支出金		0	0				0
		市債		0	0				0
		その他		0	0				0
		一般財源		27,652	25,321				27,764
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					動力費 25,189千円		動力費 26,510千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	1,582	7,547			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	浄水場等施設の動力費(電気代)の支出					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	工業用水の安定供給ができています			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	各施設ごとの運転状況から,適正な契約電力や必要量について検討する。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	浄水場等施設の動力費(電気代)の支出	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。	